



茨城県職員等採用 高校卒業程度試験 説明会

H27.8.21

茨城県人事委員会事務局



1 茨城県の概要

[茨城県の特徴]

- 豊かな自然・気候・風土
- 産業拠点, 最先端の科学技術
⇒ 日立, 東海, つくば, 鹿島
- 豊富な農林水産物
⇒ 東京都中央卸売市場のシェア11年連続第1位
- 広域交通ネットワーク化
⇒ 陸: 常磐線, TX, 海: 茨城港, 鹿島港, 空: 茨城空港



茨城県は様々な分野で
発展可能性を秘めている

【いきいきいばらき生活大県プラン】

【基本理念】

みんなで創る
人が輝く元気で住みよいいばらき

【3つの目標】

- ◇住みよいいばらきづくり◇
- ◇人が輝くいばらきづくり◇
- ◇活力あるいばらきづくり◇

2 県職員の業務内容

[職種紹介 事務(知事部局等)]

● 特色

県行政のあらゆる分野で様々な仕事に携わることができる。

● 主な業務内容

- 施策の企画・推進, 予算の編成・執行
- 条例・規則の制定
- 申請に対する許認可 など

● 主な勤務場所

- 知事部局, 教育委員会等の本庁又は出先機関(行政委員会等との人事交流有り)

[国，都道府県，市町村]

国

- ① 国際社会における国家としての存立にかかわる事務
- ② 全国的に統一して定めることが望ましい国民の諸活動等に関する事務
- ③ 全国的な規模でもしくは全国的な視点に立って行わなければならない施策及び事業の実施

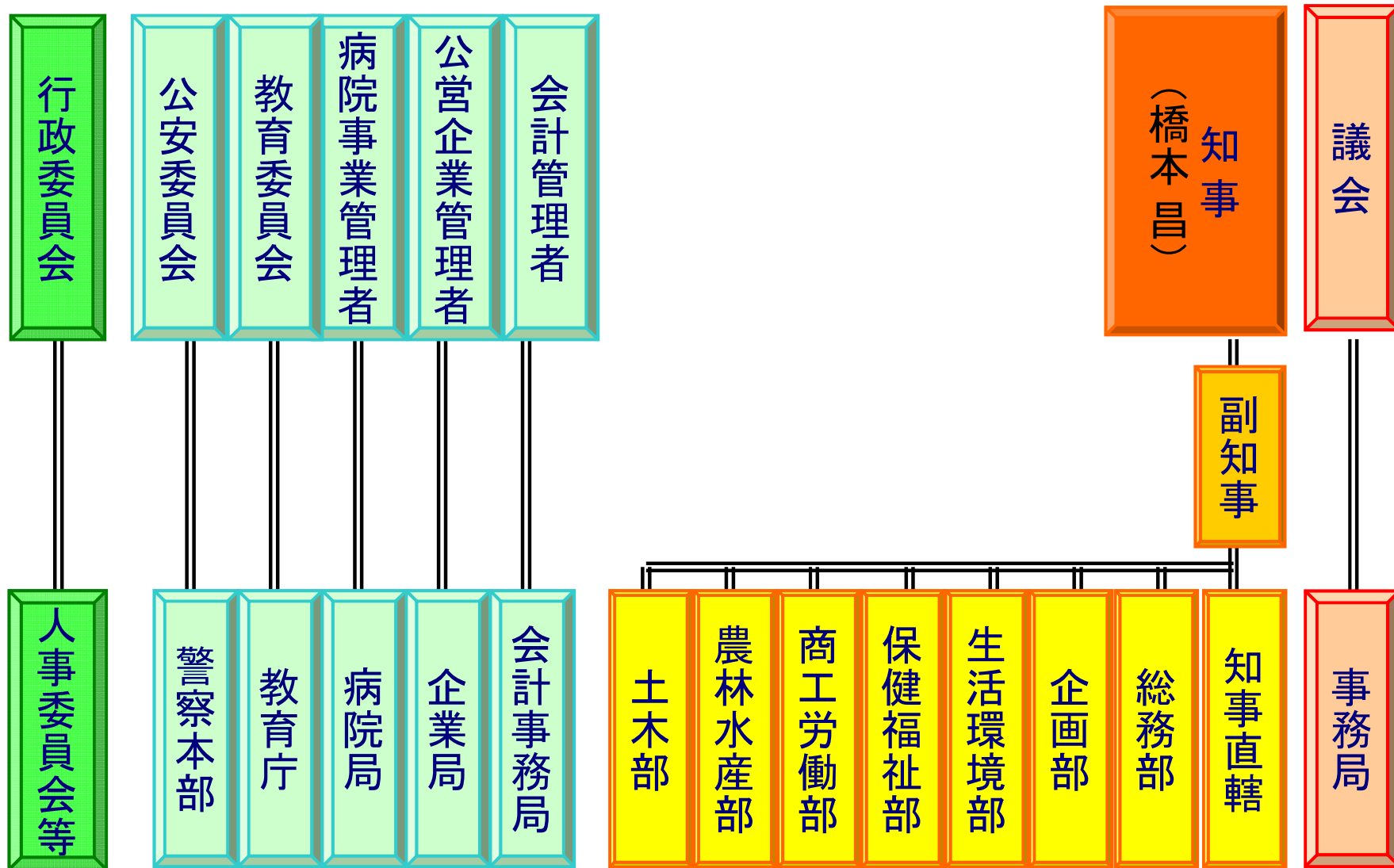
都道府県

- ① 広域にわたるもの【広域事務】
- ② 市町村に関する連絡調整に関するもの【連絡調整事務】
- ③ その規模又は性質（高度な技術や専門的な能力を必要とするなど）において一般の市町村が処理することが適当でない認められるもの

市町村

住民に身近な基礎的な地方公共団体として、都道府県が処理するとされるものを除く事務を処理する

[県の組織]



3 給与・勤務条件・福利厚生等

[給与(初任給)]

(H27.4.1現在)

区分	学歴	給料月額
高校卒業 程度	短大卒	160,992円
	高校卒	150,072円

- 職歴が有る場合には一定額を加算
- 4%の地域手当を含んだ額
- このほか、「扶養手当」「住居手当」「通勤手当」「期末・勤勉手当(年2回, 6月・12月)」「時間外勤務手当」等の支給有り。
- 勤務成績に応じて, 原則, 年1回昇給有り。

[勤務時間]

- 午前8時30分～午後5時15分

※ 予算編成や議会対応，担当業務により残業することもあります。

[休暇制度]

- 完全週休2日制（原則，土曜，日曜は休み）

- 年次有給休暇

1年につき20日

- 特別休暇

夏季休暇5日，結婚，忌引，介護等

[子育て支援制度(主なもの)]

● 育児休業(男性・女性対象, 無給(※))

子が3歳に達するまで

(※ 子が1歳に達するまでは地方公務員共済組合から
育児休業手当金が支給されます。)

● 育児時間休暇(男性・女性対象, 有給)

子が1歳6月に達するまでで, 1日2時間を超えない範囲

● 男性職員の育児参加休暇(男性対象, 有給)

生まれてくる子又は小学校就学前の子の養育。
産前8週から産後8週までで5日を超えない範囲。



[配置換①]

- 異動に関する希望調査(年1回実施)
 - 希望業務, 勤務地など
- 配置換のサイクル
 - 3~5年が目安
- 勤務成績に基づき, 上位の職に昇任
 - 主事・技師→主任→係長→課長補佐
→課長→次長→部長

[配置換②]

● 庁内公募制度

「やる気」を持った職員を希望業務の担当課に配置

1 業務提示型公募

新規プロジェクト・イベント等新たな発想や専門能力が求められる業務をあらかじめ提示し、応募職員のうち適任者を、当該公募業務の所管組織に配置。

2 職員提案型公募

職員が自ら取り組みたい課題や業務に係る提案を行い、優位性の高い課題や業務の提案者を、提案に係る課題や業務の所管組織に配置。

3 研修・派遣型公募

民間企業、他の地方公共団体等の派遣先をあらかじめ提示し、応募職員のうち適任者を、当該派遣先に係る所管組織に配置。

[配置換③]

● 派遣研修の実績【H26】

(1) 国への派遣 【9名】

(2) 他県との人事交流 【1名】

(3) 市町村との人事交流 【13名】

(4) 民間企業への派遣研修 【8名】

(5) 大学への派遣研修 【9名】

(6) 団体への派遣研修 【6名】

[研修制度]

【新規採用職員研修の様子】



- 新規採用職員研修
公務員としての心構えや基礎的法令知識等を修得する。
- 一般研修 (各職層対象)
政策形成能力向上のための行政課題 研究やディベートなどを行う。
- 特別研修
「政策研究講座」、「効率的な会議・住民説明の進め方講座」、「情報発信力向上講座」「クレーム対応能力向上講座」など、県民ニーズや社会環境の変化に的確に対応するための能力を養う。

[福利厚生]

● 共済制度

【療養・年金給付等】

● 健康管理

【定期健康診断, 人間ドック等】

● 体育・レクリエーション

【球技大会等(バレー, 野球, バドミントン, 卓球)】

● サークル

【神輿, 野球, サッカー, スキー, テニス, 美術, 生花等】

水戸黄門まつりの様子
【県庁神輿会】



4 採用試験の概要

[試験区分・受験資格・職種]

試験区分		受験資格（採用時年齢）
県職員, 小中学校職員	高校卒業程度	18～21歳

職 種	
事務系	事務(知事部局等) 事務(警察本部) 小中学校事務
事務系以外	電気, 機械, 土木, 農業,

[試験の方法]

項目		方法	内容
第1次試験	教養試験	択一式 (2時間)	50問出題全問解答
	専門試験 (技術系職種のみ)	択一式 (2時間)	40問出題全問解答
第2次試験	作文試験	1次試験日に実施 (1時間)	(H26)私を成長させてくれたこと
	口述試験	個別面接	
	適性検査		

[配点割合(高校卒業程度試験)]

		配点(満点)		基準点
		事務	その他職種	
第1次試験	教養試験	200点	100点	満点の4割
	専門試験	—	100点	
第2次試験	作文試験	50点		満点の4割
	個別面接	350点		満点の4割

[採用試験スケジュール]

	申込受付	第1次試験 【教養， 専門(事務以外)， 作文】	第2次試験 【適性検査， 口述試験】	最終合格 発表
高校 卒業 程度	8月12日から 【インターネット】 8月26日まで 【郵送・持参】 8月28日まで	9月27日	【適性検査】 10月14日 【口述試験】 10月21日～30日	11月11日

[受験申込方法(3種類)]

① インターネット (H27年度 大卒程度試験申込の85.5%)

電子申請のメリット

- 利用案内に従って申込書を入力するだけで簡単に申込ができる。
- 受付期間内なら時間を選ばず、都合のよいときに申込みができる。
- 申込み費用が郵送・持参による方法より安い。
 - * 郵送による場合、「簡易書留」になるので、430円がかかります。また、返信はがき用切手52円分を添付する必要があります。

② 郵送

③ 持参

[県が求める人材]

- ① 茨城県のことに高い関心を持ち、県政の課題に対して主体的かつ積極的に取り組むことができる者
- ② 強い使命感を持ち、新たな発想で常に県民福祉の向上に前向きに取り組むことができる者

茨城の未来を創るために、
県職員となって
一緒に頑張りましょう！

